

祝 辞

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんに心よりお祝い申し上げます。

また、これまで皆さまを育て、温かく見守ってこられたご家族をはじめ関係者の方々にも、お祝い申し上げます。

これまで宮崎国際大学に対し、多大なご協力とご理解を賜りましたことを厚くお礼申し上げます。

学校法人宮崎学園は、昭和14年、大坪資秀初代理事長によって創設されました。昭和、平成、令和へと三時代にわたり多様な変化進展を経て、82年の歴史を刻んでいます。

本学は、平成6年、大坪久泰第二代理事長によって創設されました。グローバル社会で活躍する人材育成をめざし、英語によるリベラル・アーツ教育という、極めて先進的な教育に取り組みました。

本日卒業され、令和という新たな時代を担っていかれる皆さんに「誠実に生きる」ということとお話します。

本学は、皆さんが人として成長されることを願い2つの事を教育の中心においてきました。一つは、建学の精神「礼節・勤労」、もう一つはリベラル・アーツです。

建学の精神「礼節・勤労」で目指してきたことは、人間としての成長です。「礼節」の精神では、礼節を重んじ、自他の人間性を尊重し、自らを律し、他者の立場に立って物事を考えることをめざしてきました。さらに「勤労」の精神では、心身を労して全てのことに積極的に努力することをめざしてきました。これらは、日々の生活において誠実に生きることを求めるものであると言えます。

また、リベラル・アーツは、物事を多面的にとらえながら、自らよく考え、世界を知り、自然を知り、そして人を深く学ぶ学問です。リベラル・アーツは、人を自由にする学問です。自由とは、身勝手に思考することではありません。自らに由って自分の在り方を決め、責任を持って自分の人生を生きていくということ、つまり学問に対する誠実さが求められるものがリベラル・アーツです。

昨年から、私たちは新型コロナウイルス感染症拡大のため、全く予想していなかった日常を送ることになりました。不確実性と共に令和の新時代は始まりました。予測不能で不確実であるからこそ、誠実さが求められます。そこでは、異なる文化や価値観を理解し、物事を多面的に思考し、協働しながら解決していく力が求められます。

皆さんが歩む道は、皆さん以外には誰も歩むことのできない道です。平坦な道ではないかもしれませんが、これが正解という、正しい答えのない問いの中で、自ら考え、自ら決め、行動しなければなりません。自らの目標に向け、今できる最善を尽くして誠実に生きていって欲しいと願っています。

宮崎国際大学での学びを地球社会の発展に貢献されますことを期待し、素晴らしい人生を歩んでいかれることを心から願ひまして理事長祝辞とします。

令和3年9月15日

学校法人宮崎学園理事長 山下恵子